

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策01 安全な暮らしの確保	概ね適切

【参照：資料 - 20】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の環境変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路状況や交通標識の整備、交通安全意識の定着などに伴って、全国的に交通事故発生件数の減少傾向が続いている。 ・生活水準の向上や防犯体制の整備とともに、全国的に犯罪件数の減少が見られるが、ひったくりや振り込め詐欺など、身近な生活の場での犯罪が増加しており、自ら防ぐ意識が必要となっている。 ・墓地・葬斎場の安定的なサービス提供、空き地の美観保持及び犬猫の飼主のモラル向上に関する市民の関心が高くなってきている。 ・消費生活が多様化、複雑化している。 	<p>「生活水準の向上」とあるが、基本事業03「市民相談の充実」の達成状況では、「生活全般に対する不安感が広がっており」とあり、この2つの表現が矛盾しているように思うので、例えば「最近では生活全般に対する不安感が広がっているが、長期的には生活水準の向上が見られる」というように、表現を工夫すべきである。</p>	<p>表現について検討する。</p>
<p>【施策の達成状況】</p> <p>地域での交通安全の推進や防犯活動による意識が高まっているが、環境に対する苦情では、犬猫の飼い方、モラルに関するものが依然として見られるため、今後も安全で快適、衛生的な生活環境の確保に努め、市民が住みやすいまちづくりを進める。</p>	<p>「犬猫の飼い方、モラルに関するものが依然として見られる」とあるが、その原因分析がされていない。</p>	<p>原因分析を記載するように検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【施策の目的】</p> <p>市民の安全意識を高めることで、事故や犯罪を未然に防ぎ、また、衛生面での改善を図ることで、安全で衛生的な暮らしを確保します。</p>	<p>「衛生面での改善を図ることで」という表現が非常に限定的な印象を与える。例えば「生活環境の改善を図ることで、安全安心な暮らしをつくる」などの表現にした方が事業全体をカバーできるのではないか。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策01 安全な暮らしの確保 基本事業01 交通安全の推進	概ね適切

【参照：資料 - 21】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【事業の達成状況】 人身交通事故発生件数327件（前年比△49件）であり引き続き減少し、全国及び全道も減少したが、減少率では全国・全道を大きく上回るものであった（全国△1.7% 全道△7.3% 江別市△13.0%）。特に交通事故死者数は1人（前年比△4人）であり、昭和29年の統計開始以来、最小の人数であった。	達成状況の文章の頭に「江別市」という主語があった方がわかりやすい。	検討する。
	この書き方だと単に数字が減ったことを文章化しているだけなので、その原因を分析して、例えば「市民安全運動が功を奏し」などと記載すべきである。	原因分析を記載するように検討する。

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策01 安全な暮らしの確保 基本事業02 防犯活動の推進	概ね適切

【参照：資料 - 21】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【事業の達成状況】 犯罪の発生件数（刑法犯認知件数）は減少しており（対前年比△67件）、全道の傾向と同じであった。江別警察署及び自主防犯パトロール隊と連携し、今後も防犯活動を推進していく。	指標の「防犯活動を行っている自治会の割合」の数値が初期値からずっと横ばいで推移している。そのことについて、達成状況に記載がない。目標に達しているなら別だが、達していないのだから、なぜ横ばいなのか原因を分析して記載すべきである。	防犯活動はPTAの活動とも関係してくるので、そうしたことも分析して記載できないか検討する。
	指標の「犯罪発生件数」が減少しており、その原因が全道で減ったからというように誤解してしまう。市の取り組みの中身を考えると、自主防犯パトロール隊を始め、学校、家庭、地域、関係機関、関係団体が連携協力し一体となって取り組んだから減少傾向にあるというように、もう少し行政の取り組みを加えて評価すべきである。	実際にそういった連携を通じて活動しているので、それがわかるような表現を検討する。

担当部署の評価内容	委員の意見
【対象】 市民、自治会、防犯関係団体	防犯活動の推進では子どもがキーポイントになるので、対象に学校を加えていないのは生命、財産を守るという本質からすると、緊迫感がないというイメージを受ける。

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策01 安全な暮らしの確保 基本事業03 市民相談の充実	概ね適切

【参照：資料 - 22】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の達成状況】 景気の低迷に伴う雇用不安に加え、少子高齢化や核家族化による老人世帯の増加等を背景として、生活全般に対する不安感が広がっており、相談件数も増加傾向を示している。相談内容が多様化かつ専門化してきており、相談員の知識取得や適切な相談機関を紹介できる情報把握に努めて、相談体制を維持していく。</p>	<p>「相談件数も増加傾向を示している」とあるが、具体的に数字があるとどれぐらいの件数があるかイメージできるので、定量的に分析し記載した方が望ましい。</p>	<p>記載について検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【事業の成果指標】 市の相談窓口を知っている市民の割合</p>	<p>既に70%近くの市民が市の相談窓口を知っている段階になって来たので、この指標だけで良いのか見直しの時期に来ていると思う。相談に対して解決した割合や何らかの措置をした割合など、これに代わる成果指標も検討してほしい。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策01 安全な暮らしの確保 基本事業04 快適で安らげる生活環境の充実	概ね適切

【参照：資料 - 22】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の達成状況】 ペットに関する苦情は年々減少してはいるが、依然として後を絶たず、生活の快適さを損なう要因となっており、巡回指導や広報、看板等により、継続して飼い主に対してマナーやモラルの意識啓発を行っていく必要がある。 空き地の草刈についても、環境保全に対する関心の高まりから苦情が減少しているが、今後とも継続的に早期に巡回するなどして、生活環境の充実に努めていく。</p>	<p>空き地何件、空き家何件という苦情件数の内訳と、それに対する市の対応が具体的に書いてあると、報告書を読んだ市民にも何をやっているのかわかってもらえると思う。</p>	<p>記載について検討する。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策01 安全な暮らしの確保 基本事業05 消費生活の安定	概ね適切

【参照：資料 - 23】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の達成状況】 相談件数自体は減少しているものの、個別の事案に関しては金融商品や先物取引等、高度な商品知識を伴うものが多くなっている。解決に要する相談回数、相談時間ともに増加しており、あっせん解決力の強化を図っていく必要がある。</p>	<p>相談件数自体は減少しているとあるが、具体的な数字があるとイメージがつかみやすい。</p>	<p>件数の付記は検討するが、件数よりも相談の中身について解決状況を中心に達成状況の表現を工夫する。</p>
	<p>金融商品や先物取引等、高度な商品知識を伴うものが多くなっているということだが、それらが相談全体に占める割合を達成状況に加えてほしい。</p>	<p>記載について検討する。</p>
	<p>基本事業の目的で消費者被害を未然に防止するために正しい知識を提供するとあるが、達成状況のところにそれに関する記載がない。</p>	<p>記載について検討する。</p>